



1/30 想像力は生きる武器になる
～「学校の元気度アップ！」プログラム～

小の子どもたちが楽しそうにエア縄とびを跳ぶ府本



府本小学校で、「学校の元気度アップ！」プログラムが行われ、全児童が参加しました。当プログラムは、県教育委員会と日本教育公務員弘済会熊本支部が実施する事業です。子どもたちは、想像力や表現力を高めることの大切さを、「劇団きらら」の団員たちが教えるエア縄とび、寸劇やダンスなどを通じて学びました。子どもたちはそれぞれの動きを体全体を使って表現し、会場には「楽しかった」、「またやりたい」との歓声が上がっていました。

2/3 女と男がともにいきいき輝くまちへ
～男女共同参画フォーラム～

日高さんの講演は、ユーモアを交えながらも心温まるものでした



男女共同参画フォーラムを文化センターで開催し、約300人の来場者が男女共同参画の大切さに触れる一日を過ごしました。オープニングを飾ったのは劇団かたつむりの寸劇。生活の一コマの中に見る男女共同参画を描くことでより身近に感じてもらうと企画されたものです。メインイベントである日高邦博さんの講演では、ボートレーサーを妻に持ち、主夫経験もある自身の体験を交えたユーモアたっぷりの話に、会場は大いに盛り上がりました。

27～9 社会人としての基礎を学んだ3日間
～有明高校2年生が市役所ヘインターンシップにやってきました～

有明高校2年生の森伊織君は、くらしいきいき課、総務課、秘書広報課の3課で業務に従事しました。くらしいきいき課では、おもやい市民花壇で地域の皆さんと作業をしました。秘書広報課では、広報題字を書いた小学生の取材、ひとのちからCLOSE UP3月号に登場した界達かたるさんの取材を体験。また、FMたんととのスタジオ見学と生放送にも出演しました。どの業務にも真摯に取り組む姿勢を見せてくれた森君。卒業後は大学への進学を希望しているとのこと、今後の活躍にも期待したいです。

Interview

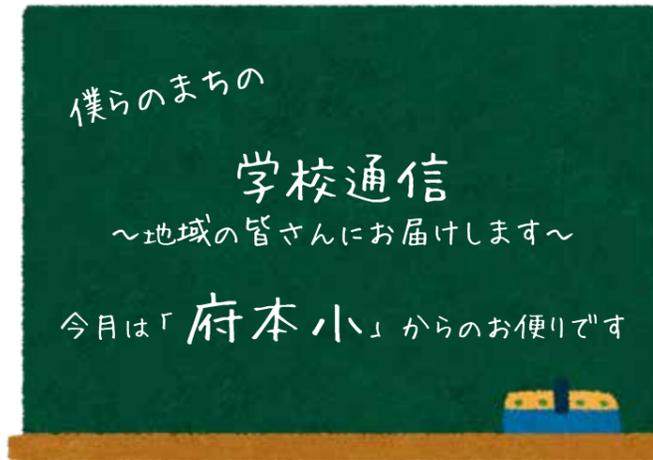


おもやい市民花壇では、地域の皆さんに親切に教えてもらい、作業することができました。FMたんととの生放送出演、小学生や界達かたるさんの取材などは日常ではなかなか経験できないものでした。写真のピント合わせなど大変でしたが、取材対象者の笑顔が撮れてうれしかったです。

小学生の取材では、緊張をほぐしながら笑顔の撮影に臨みました



界達かたるさんのインタビューでは、自ら質問を考えて取材しました



▲3月上旬、秋のイモ掘り大会に向けて5・6年生は苗床を作ります



▲5月、全校生徒で茶摘み。ことしもおいしいお茶を作りたいです



▲9月のイモ掘り大会では、大きなイモを収穫するのが楽しみです



▲11月の紅葉狩りウォークでは、募金活動も行っています

子どもたちの成長を支えていく学校の仕組みとして、保護者や地域の皆さんと連携・協働し、「府本版コミュニティ・スクール」を立ち上げようとしています。

「府本版コミュニティ・スクール」とは、これまで本校児童の健全育成に尽力してもらっている府本地区協議会・学校評議員・PTA役員（保護者）・各方面のボランティアなど多方面の皆さんが一同に会し、学校の運営方針に基づき、学校の課題などに意見をもらいながら、その解決や改善に向けて、共に話し合い、協力し、一体となって教育に当たっていく仕組みです。

現在、府本地区協議会の毎月の定例役員会に、校長とPTA会長が参加しています。この組織の中に「小学校部会」を新たに立ち上げ、その中に「ハートフル（徳育）やさしく部」「チャレンジ（知育）かしこく部」「フレッシュ（体育）たくましく部」を位置付けたいと思っています。今年度はまず、双方の行事などをうまく組み込んで、連携・協働して取り組んでいけたらと思っています。

おもな内容	main contents
学校通信	2
まちの話題	3
市長室から	7
特集 熊本、復興の今一	8
子育てのひろば	10
保健・健康	12
市民病院からのお知らせ	16
あらおのいきいき企業	17
補助金を活用しませんか	18
あらお荒炎祭開催決定	19
市民活動掲示板	20
くらしの情報	22
試験・募集・イベント	27
はじめてのHAPPY BIRTHDAYなど	31
図書館情報	32
文化センター情報	33
相談の窓口など	34
あらおカレンダー	37

声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙] 福祉課福祉係 ☎63-1406

荒尾市ホームページ <http://www.city.arao.lg.jp/>

★荒尾市強調月間★

4月
「交通安全の月」



広報あらおは見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。